

# 学校法人福岡保健学院 学校関係者評価

評価実施日 平成29年3月29日

下関看護リハビリテーション学校 看護学科

大項目	評価項目	自己点検・自己評価総括	総合評価	課題及び課題解決に向けた提案	評価を受けた学校側の考察・対策
教育理念・目的・人材育成	学校の教育理念・目的・人材育成が定められているか？	教育理念は、校舎内数か所に掲げている。理念を基に教育目的・教育目標・教育方針・育てたい卒業生像を明文化している。学生便覧に掲載し、学生が常に見て確認できるようにしている。特に新入生には、4月中は毎日持参するように指導している。機会ごとに学生便覧を開くよう意識づけている。教員へのオリエンテーションや新入生ガイダンス、オープンキャンパス、高校訪問等で伝えること、目に触れることで意識することができた。保護者に対しては、オープンキャンパスや保護者会で伝え理解していただけるよう努めている。社会の医療福祉の動向を毎年確認してニーズに対応できている。教育方法に反映している。	4		教育理念・教育目的・教育目標に基づいて教育内容が精選され実施されていることを、機会あるごとに教職員・学生・保護者等に伝えることが必要である。
	学校の理念・目的・人材育成など学生及び保護者、学校関係者に周知されているか？				
	各学科の教育理念・目的・人材育成は医療・福祉のニーズに方向づけられているか？				
学校運営	目的に沿った運営方針、事業計画が策定されているか？	保健学院看護専門学校4校でアドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）、ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）を共有している。教育事業方針のもと管理目標を明確にして取り組んでいる。2学科あるため、運営会議・管理会議にて情報の共有や学校運営上のルールや取り決めを行っている。学校の組織図が周知できていないため、組織としての動きが徹底できていないこともある。職員の数は確保できているが、個々の位置づけと業務内容が十分浸透できていない部分もある。情報システムについては、学事システムを導入し業務の効率化を図っている。	3	組織における意思決定機能の明確化、職員全体への組織の方針などの決定事項の周知の方法を明示してほしい	運営組織・意思決定機能は決定しているが、職員全体に明確に知らせることができていない。今後は、学生便覧に組織図・細則を省略せず掲載し、学科会議等で伝えていき周知を図りたい。
	運営組織や意思決定機能が規則等において明確にされているか？				
	情報システム化等による業務の効率化がはかられているか？				
教育活動	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか？	教育課程編成については、本校の考え方や根拠が把握できておらず、授業内容間の重複や整合性、発展性等が不明確な部分もある。授業内容・学習進度・評価計画・評価方法等検討が必要である。さらに評価計画を立案しフィードバックできる体制を作る必要がある。授業設計については、関連看護学校4校で研修を行い、わかりやすい授業ができるよう各自取り組んでいる。教育環境の問題から非常勤講師が多いため、各看護学担当教員と非常勤講師の連携を密にし授業内容の精選をする必要がある。授業評価については、統一した評価表にて実施し、講師会議で結果を公表し、授業の改善に活用している。研修への参加を奨励しているが、実習指導のため、時間調整ができず十分に活用できていない。互いに協力しあって学会・研修に参加できるよう調整していくことが必要である。実習指導のため学内にいない状況もあり、時間的にも研究活動できない状況である。研究に取り組める組織づくりが課題である。	3	教員の研修参加の回数増加対策、現代の学生にあった教育方法、例えばシミュレーション教育などの取り入れを検討してください。  教員の研修時間や機会をもっと多くとって頂きたい。	教員研修参加に対する認識を改善できるよう、研修の必要性や自己研鑽の重要性を学科会議・日々の関わりの中で伝える。また、研修案内を個別にも行い計画的に研修参加を促す。学会や研修等に参加できるよう、教員間で連携協力を行うようにする。  シュミレーション教育のための研修に参加し、具体的な方法を考えていきたい。
	職業実践教育の視点に立ったカリキュラム・教育方法の工夫・開発が行われているか？				
	医療・福祉における職業実践教育が体系的に位置づけられているか？				
	授業評価の実施体制はあるか？				
学生指導	教育力向上のための研修等が実施されているか？		4	全体的指導がみえなかった	担当制で相談窓口を明確にして、個別指導体制を整えている。問題のある学生に対して保護者と連携をして関わっている。保護者へ早めの情報提供に今後も務めていきたい。
	学生相談及び就職相談に関する体制が整備されているか？				
	学生の生活指導及び安全管理に関する体制が整備されているか？				
	高校や保護者と連携した取り組みが行われているか？				

大項目	評価項目	自己点検・自己評価総括	総合評価	課題及び課題解決に向けた提案	評価を受けた学校側の考察・対策
学修成果	就職率が良好であるか？	就職率は100%である。退学者・留年率は横ばい状態で大きな変化は見られない。国家試験合格率は、開校以来全国合格率より上回っている。国家試験対策は、1年次より実施しており、3年次からはチューター制をとり、学生個々に指導を行っている。卒業時満足度調査でも、授業や国試対策に対して不十分で満足していないことがわかるため、授業・国試対策に対して創意工夫が必要である。卒業時の到達状況については分析を行っているが、卒業生の動向と就職先での評価については把握ができていない。関連施設や実習施設への就職者については、一部情報を得ることができる。体制としては整えていないため今後検討する必要がある。	3	卒業生の社会での活躍の評価を実施してください。 国家試験100%合格に対する対策を検討してください。 退学・留年者の軽減を図ってください。 今年度は4名不合格であった。	計画的な国試対策を実施し、100%合格を目指す。学生が効率よく学べるよう学習内容と進路を検討していく必要がある。学生自身が思考し、判断し行動できるように指導していきたい。教員全員がカリキュラムの組み立て、位置づけ内容が理解でき、認識の統一ができ、学生に関わるようにしていきたい。卒業時満足度調査の結果を踏まえ、改善していきたい。
	退学率・留年率の低減しているか？				
	国家試験合格率が良好であるか？				
	卒業生の社会での活躍を評価し、教育活動の改善に活用されているか？				
教育環境	学内の教材及び教育環境改善に向けた取り組みが行われているか？	教材について、不足分の購入・消耗品や破損している物、代用品を使用している物等購入し充実させている。施設整備は壁や階段の塗り替え、ホワイトボードの張替え等を行った。臨地実習は、教員が実習中常同行指導調整を行っている。防災体制は、消防に関しては明確になっているが、他の災害時の体制が不十分であった。今後防災マニュアルの作成が必要である。	4	防災に関しては、水害地域であると思われるのでその点を加えてほしいです。	防災マニュアルの作成をしていきたい。
	臨床実習における環境改善の取組が行われているか？				
	防災に関する体制が整備されているか？				
学生募集	高等学校等に対し適切な情報提供が行われているか？	広報委員が中心となり、計画的に計画し実施している。学校訪問時、在校生の状況や学校の取り組み・方針、卒業後の進路、国家試験合格状況等を随時説明し理解を得ている。また、高校教諭対象に学校説明会を年2回開催し、学校の理解を深めていただいている。さらに、出身校の学生と教諭の交流会を同時に開催している。修学支援制度については、オープンキャンパス時資料を配布している。奨学金担当者を明確にし、個別相談しやすい体制にしている。また、教育訓練給付制度の申請を行い修学支援を行っている。	4		学生募集に関しては、必要な情報提供を正確に伝えている。修学支援制度も整えている。
	資格取得・就職状況等の情報を正確に伝えているか？				
	修学支援制度があるか？				
財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか？	財務基盤は、安定しているが、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているのかを職員全体に理解できるように十分伝えていない。また、具体的な運営計画や将来構想を十分に職員に伝えられていない。会計監査報告は、理事会にて報告されており、適切に実施されている。	4		黒字運営で、財政基盤は安定している。会計監査は適切に実施されている。
	予算・収支計画は妥当であるか？				
	会計監査は適切に実施されているか？				
法令遵守	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか？	法令遵守は、法人全体で取り組まれており、次の調査等においてチェックを行っている。①自己点検自己調査②学校基礎調査③保健師助産師看護師法施行令第14条に基づく報告 個人情報保護に関しては法人全体の規定を設けており、教職員及び外部講師、学生が遵守すべき事項が定められている。臨地実習における学生の個人情報保護については、SNSの取り扱いも含め指導を徹底している。	4		法令は遵守されている。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか？				
社会貢献 ・地域貢献	学校施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか？ 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか？	学校施設を理学療法士会の研修会、地区の勉強会、近隣病院の研修や勉強会等に貸し出しを行っている。学生は、学校周辺の地域清掃活動を行っている。ボランティア活動は、障害者施設の行事や障害者の講演会の手伝いに参加している。地域の祭りに参加し地域貢献している。	4	ボランティア活動をもう少し増やしてほしい 障害者に対するボランティアを行っている	学校施設は可能な限り貸し出しを行う。 ボランティア活動を増やすために、情報提供を行い参加を促していきたい。